



タイム



学校だより No.14

令和6年11月19日

文責 日高 智明

【教育目標】 確かな学力と豊かな心をもち たくましく生きぬく児童の育成

～夢と希望をもち よく学ぶ春日の子～

【今年度の合言葉】 「感動～感じて動く～」

学校 HP



子どもと過ごせる時間

先日、いつものように朝の交通指導をしていると登校してきた子どもが「今日の親子レクお家の人に来るって！！」と満面の笑顔で伝えてくれました。「よかったねえ、レクは何をするの？」と尋ねると、「う～ん 知らない」と答えました。子どもにとってお家の人と一緒にレクリエーションができることが、何よりうれしいんだなあと感じたできごとでした。

その時ふと、子どもたちと過ごせる時間ってどれくらいだろうと思ったので、調べてみました。

高校卒業までの18年間で、学校へ行ったり、遊びに出かけたりする時間を省く純粋に親子が一緒にいる時間は、関西大学社会学部教授の保田時男先生によると「母親で約7年6ヶ月」「父親で約3年4か月」だそうです。当然個人差はあると思いますが、「そんなに短いのかぁ」と思いました。しかも、小学校卒業時には、その半分は終わっているそうです。このことを知って、「夕飯の時にもっと話せばよかった。」などなど自分自身の子育てもふり返り、子どもと過ごす時間の貴重さを実感しました。

冒頭で紹介した子どものように、私にお家の人に来ることを伝えてくれたのは、その日だけでも数名いました。それだけお家の人と一緒に過ごすことを、楽しみにしている子どもたちがいると実感した日でした。

当然のことですが、子どもと過ごす時間は、小さな時間の積み重ねです。休みの日に、少し早起きして散歩してみたり、ごはんを一緒につくってみたりするなど、無理せずできることを積み重ねてみるといいのかなと思います。できるのは、今だけですから。



【がんばりました】

○第29回佐世保球友会秋季レギュラーソフトボール大会 優勝 春日ジュニア

○第47回長崎県小学生バレーボール大会 優勝 相浦ジュニアバレーボールクラブ

◇図書室の貸出冊数 ⇒ 4月から10月まで一人当たり 41冊

読書の積み重ねもしっかりできています

※8月に集計用 PC 交換のため貸出ができなかったのに、これだけの読書量があるのはよくがんばっています